

(様式2)

学校関係者評価報告書

(上浮穴高等学校)

学校番号(27)

| 評価実施日 | | | |
|-------|-------|-----------------------|----|
| 委員 | 氏名 | 所属等 | 備考 |
| | 白川 真理 | 久万子ども園園長(学校評議員) | |
| | 釣井 好春 | 久万高原町教育委員会事務局長(学校評議員) | |
| | 伊藤 孝平 | 三愛スポーツ代表(学校評議員) | |
| | 古田 邦博 | 前久万高原町商工会会長(学校評議員) | |
| | 渡部 定明 | 久万高原町立病院事務局長(学校評議員) | |

| 評価・提言等 | 提言等に対する改善方策等 |
|---|---|
| <p>1 今年度の評価</p> <p>(1) 全国募集について</p> <ul style="list-style-type: none">・「地域みらい留学2021」のオンライン開催に、寮生と共に参加させていただいた。自分たちの寮をどのようにアピールしていくか、発信の大切さや、伝え方などを学んだり、他の寮の学校のことを知ることによって改めて感じたりすることもあった。 <p>(2) 学生寮について</p> <ul style="list-style-type: none">・一定の効果は上がっていると思う一方、難しい問題や課題が出てくると思う。運営・指導にさらに御尽力いただきたい。全国募集で来てくれた生徒さんの様子が知りたい。寮の見学がしたい。 <p>2 学校運営への提言</p> <p>(1) 地域との繋がり</p> <ul style="list-style-type: none">・現在の上浮穴高校は、生徒の頑張りが結果として見えてこないのが残念。農業クラブの活動だけでなく、生徒一人一人が活躍できるフィールドを提供してあげてほしい。 <p>(2) ICT教育の動きについて</p> <ul style="list-style-type: none">・ICT化の説明や、実際のタブレットを使った授業の内容を見てみたい。ICT化で、児童福祉に興味がある生徒さんと、こども園の子どもや保育教諭とのオンライン交流会を行ってはどうでしょうか。 <p>(3) 地域との交流の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の方々との関わりができる仕組みを教職員が考えるのではなく、生徒が考え地域と関わるプラン等も発表いただきたい。 <p>(4) 地域交流の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・放課後の部活動に、「福祉部」を作っていただき、幼稚園や高齢者福祉施設等でボランティアをしてもらう取組はいかがでしょうか。 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・上浮穴高校の存続の在り方を、上浮穴高等学校振興対策協議会等で真剣に話し合ってほしい。 | <ul style="list-style-type: none">・教員が、全国募集に興味がある方々に語りかけるより、生徒自身が普段の学校生活や寮生活について話すほうが説得力が生まれ、共感も得やすい。学校存続のため、ぜひ、生徒・スタッフの皆様にも協力願いたい。・町と話し合いを重ねつつ、教職員の負担や教育委員会、スタッフの負担などを考慮しながら、今後の寮生の自治的な運営、交流など、持続可能な寮について改善を図りたい。・来年度からは、普通科では、総合的な探究の時間等を核とした、地域と連携した体験的な学習を通して、地域活性化に貢献できる力を身に付けさせたいと考えている。・今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、授業参観は御遠慮いただいた。来年度は、一人1台端末の利活用について、効果的な活用方法の道を探りたい。・来年度から、普通科の「総合的な探究の時間」の内容を大幅に見直す。生徒自身が課題を研究する形を取り入れていきたい。・現在、ライフデザイン部が、週末等を利用し、絵本の読み聞かせを行っているところ。更なる活動の広がりについて、ぜひ検討したい。・生徒募集に当たっては、振興対策協議会の御支援をPRし、町内外の生徒の入学につなげているところ。生徒募集の現状や課題等について、共有してまいりたい。 |